

線 射 技

地域と全く

関係のなかつた人物が、政
党などに拍が
れて突然現れ

て地域の候補者として選
挙に立つ。落下傘候補と
言つらしい。

著名人であることが多
く、知名度が抜群である
から当選の可能性が高
い。勝つためなら何でも
するといふ選挙の見本の
よつだが、当選後、その
人物が地域を代表して真
に国政に励むなら、これ
もあながち悪い
と言ひ切れな
い。

近年、欧米の
巨大なNGOの



日本オフィスが次々に設
立されている。その専門

分野は、医療、環境問
題、開発支援と、さまざ
ま。日本という「地域」

の中の自発的運動から生
まれたといふよりも、落
下傘候補よろしく突然日
本に現れた、という団体

集金だけ？

が少なくない。

なぜか。答えは「ジ
ヤパン・マネー」であ
る。

日本にもNGO活動に
関するさまざま
な助成金制度が
ある。郵政省や
外務省が管轄す
るものから、半

官平民の法人が管轄する
ものまで、幅広い。その

助成金を受けられるNG
Oは、一般的には日本に
活動拠点がある団体に限
られている。

今、世界のNGOは活
動資金を確保することに
苦慮している。そこで、

日本にオフィスを、とい
うわけだ。

政治の落下傘候補と同
じく、動機はほめられた
ものでなくても、その後

の活動の中身が日本人と
しての国際貢献になっ
ているならば、決して非
難されるべきことではな
いだらう。

最近、医学雑誌を読ん
でいて、世界的に著名な

団体の日本支部の会員募
集の文章に出合った。す
でに日本国内で七千二百

万円の募金を集め、欧州
某国にある本部に送金し
たとあった。

なぜ日本でプロジェクト
を立てないのだらう。

日本で集めた寄付金を、
外国の本部に送ってまし
とするのは、救済や助力

を必要とする人々への前
汗する「日本人としての
国際貢献」という観点か
らみると、何の意味もな
いと思つ。
(小林 米平=AMD
A・アジア医師連絡協議
会日本副代表)